



令和7年度のご入学を祝して

新潟大学教育学部同窓会 会長
臼 杵 勇 人

令和7年度の入学式が4月3日朱鷺メッセで盛大に挙行されました。3274名（昨年度より77名増）の新入生と保護者の皆様、ご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

高校生活のスタートの年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底で、新たな生活様式を強いられたのではないかと思います。高校生活の後半は、新型コロナウイルスが季節性インフルエンザと同じ5類となり、少し緩和された中で充実した高校生活をおくられたのではないのでしょうか。

新潟大学は「自立と創生」を理念として掲げ、「真の強さを学ぶ」総合大学です。入学式で牛木学長は、「人真似ではなく、自分を活かすこと」「未来を切り開くための力、多様な課題に対するアクションを起こすこと」を強調されていました。グローバルな社会、地域の課題に真摯に向き合いながら、自分の進むべき道、自分の果たすべき役割を自覚して学び続けて欲しいと思います。

さて、その中でも教育学部は、「未来を担う子どもたちを教育する」教員養成に特化した学部です。教員を目指して入学された皆さんには、自分の目指す教師像、「こんな先生になりたいな」という思いや願い「ビジョン」をしっかりとって学び続けていただきたいと思います。

教育学部同窓会は、入学された皆様から永年会員になっていただくとともに、皆様への強力な応援とバックアップをして参ります。教育学部同窓会のホームページや広報紙「教育新報」（年2回発行）をご覧ください。また、教育学部の校舎内に「同窓会事務局」がありますので、お気軽にお声がけくだされば幸甚であります。

さて、昨年度より公立学校教員採用選考検査の方法が大幅に変更されています。今年も新潟県と新潟市は同日の選考検査日となっています。今年の小学校教員の一次検査の1回目は、昨年度よりも1か月早い5月11日(日)実施で、教科の筆記検査では、県が2教科、市が5教科となっています。「春選考」という呼び名もついています。

第一次検査の2回目は「夏選考」として7月6日(日)で、小、中、高、特別支援など全種目、そして「大学3年生」も7月の検査のみ受検できることになっています。第二次検査は8月21日(木)から24日(日)です。出願率の低下を防ぎ、教員確保のための取組として昨年度から開始されましたが、昨年度は出願者数が少ないことと、二次検査以降の辞退者も多く予測されたため11月に追加募集で「秋選考」も実施されました。今年も出願状況によっては「秋選考」を行う場合があると言われています。

日本の未来を担う子どもたちのための教育を行うには、教員の待遇改善と教員の確保などの教育改革がとても重要です。そして、教員を育成する教育学部の存在がますます重要になってくると考えていますので、教育学部のますますの発展を祈念するとともに、学生、同窓生の応援団としてしっかり見守り、エールを贈り続けて参ります。

